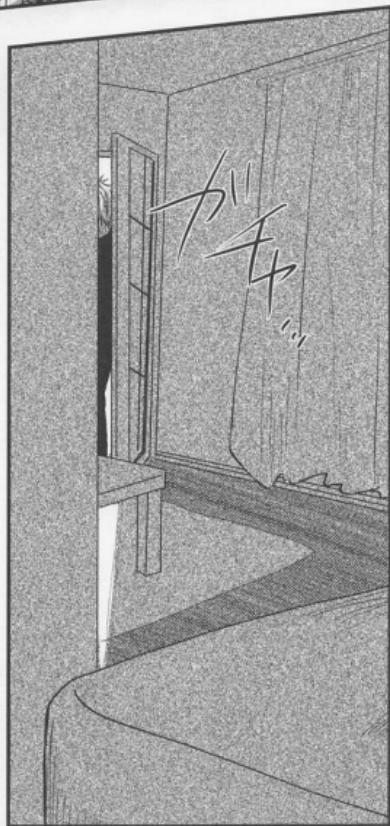


??本

ATTENTION

本作品はケモ耳表現を含む作品になります。
また、ケモ耳のまま成人向表現があります。
ご注意ください。

大丈夫な方は、少しでも
楽しんで頂けますと幸いです。





黒猫の間違いだつたや♥



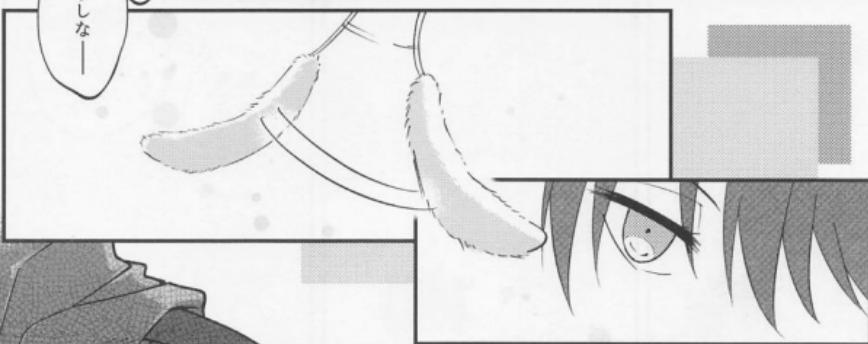
ご都合呪靈
猫ちゃん

一一

















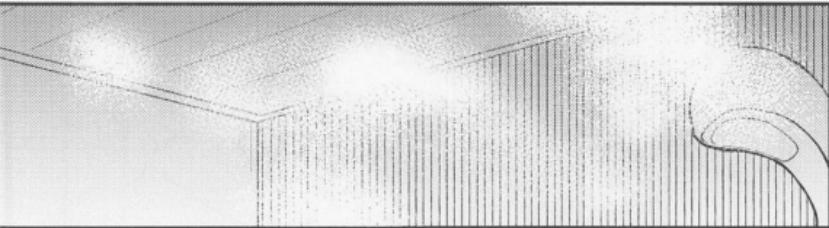






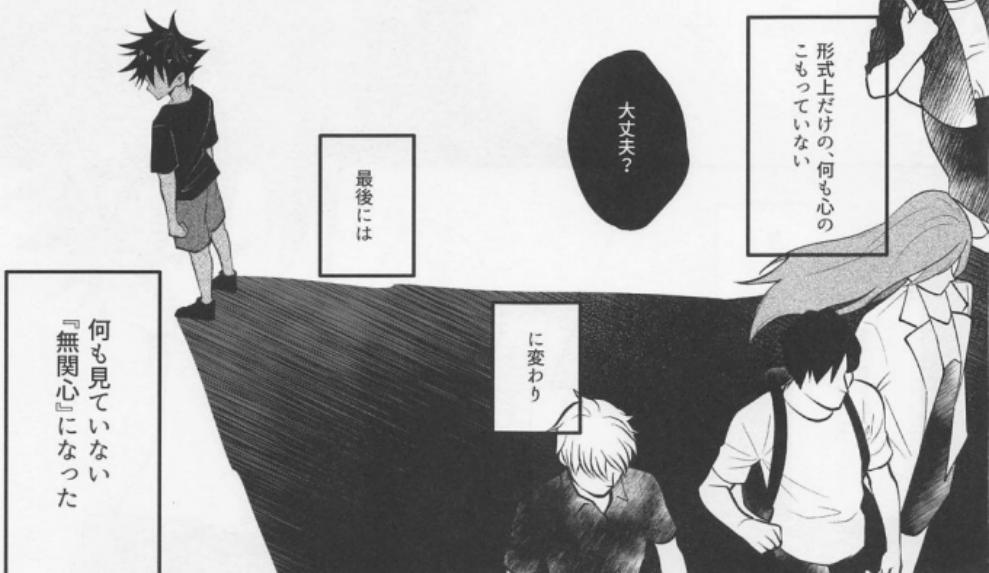


一緒に入るつか









別にそのことに
不満はない

人間の興味なんて
人が思っているより
よっぽど狭い

自分がそうだったから、

『興味の範囲外』

それが大人から見た自分

恵

何かあつた？

きっとすぐに
興味をなくす

俺の事を見なくなる
きっとすぐに

この人も

：別に
何もありません



そのはず だった—



3回なんて比じやない





どうしても
受け入れ難くて

何度も真っ直ぐ
聞いてくる睡が





僕はどれだけ
疲れようが
自分の見たいものは
ちゃんと見る

僕がそうしたくて
してるんだから
それで疲れたりしないよ



恵だつて
大好きな犬見続けて
疲れたりしないでしょ？

それと一緒に



心の中で
何かが解ける
感覚がじたばん

ただ、この人は

そこにに行けば
津美紀は
幸せになれるのか？

突然現れた
白髪の不審者

何を考えているのか
わからぬ瞳

子供にわざわざ
親の裏話をする
デリカシーの無さ

ない

100%ない

それは
断言できる

出会った時から
大事な場面で
嘘をついた事は
一度もなかつた

まだ絶対とは
言えない

え、知ってるけど？

：俺は
犬じゃないです

でも――

全てを映す
『見る』人の瞳

あの――







僕今すっごく
お腹空いてるから
いっぱい食べちゃうかも



今思うと
もしかして
あの時から

戸惑いと一緒に
どう表現していいのか
わからない感情を
抱いていた記憶がある

意図的なのかどうかは
五分五分だらうけど

放つておけばいいのに
それだけはしてことなかつた

——昔から周りは
気付かない事でも
その人だけは気が付いて



くそ…
單純すぎる…



は～

木の



んー?
恵も
おいでよ



やつばお風呂上りの
ベッドはいいね

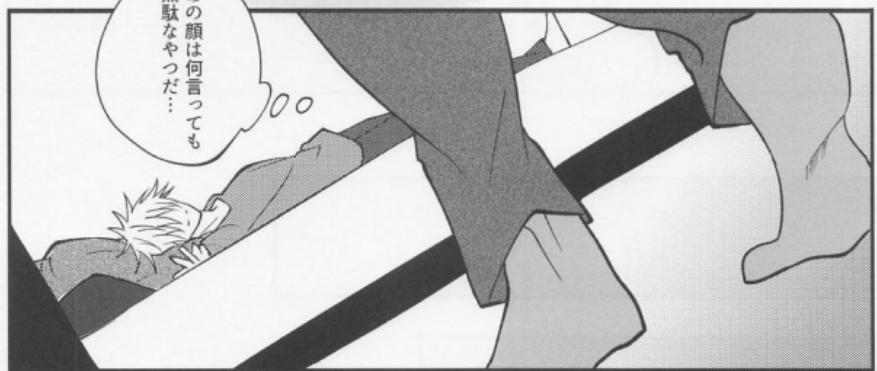


はあ…

し

あの顔は何言つても
無駄なやつだ…

。。。







そんな事
気にしてんの?

恵もよーく
知つてる通り

あいにく
恵でしか勤たない体に
されちやつてるんだよね



むしろ
責任取つて
もらわなきや

お互い様
でしょ…











つ、恵…
大丈夫?

今日いつも以上に
感じやすく
なってるけど…

でも…

五条さん…

この人の熱が
心地いい

あ

恵

あ

ごじょ…さ

あ

ほ

ほ

…み

…ぐみ

恵

おはよ、恵

おはよう
ございます…

あ、起きた

今何時です

か！？

ギョッ



だからさあ

ギッ!!

解呪手伝つでよ

ビッ

一緒に頑張ろうね♥

ぜ…

ぜつっつ
しい
嫌です!!

えく
自然と休み被るの
超レアなのに?

アンタ一人で
祓えるでしょ!

ただでさえ
昨日あれだけ…!
まだこつちは回復
しないんですよ!

そんなやわに
育ててないよ

話聞け…つ、
ちよ、離…

本当に無理
ですか…!!

結局する





JUJUTSUKAISEN
UNOFFICIAL
FANBOOK #3
SATORU GOJO × MEGUMI FUSHIGURO
Presented by Yu Miyabi

